

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	並河 葉子 教授
開 講 期 間	後期 (9/19 ~ 2/9)	開 講 曜 日 ・ 時 間	月曜 6 限 (17:50 ~ 19:20)
履 修 条 件		募 集 人 員	若干名
教 室	未定	連 絡 先	Tel: 078-794-8133 Email: kyomu@office.kobe-cufs.ac.jp (教務入試班)
授 業 形 態	対面		
授 業 方 法	講義		
学 習 目 標	近代において非ヨーロッパ世界各地に広がる英語圏を結びつけてきたものと、それを可能にした電信技術をはじめとする近代的な技術や「自由」などを重視する近代的な考え方の関係を具体的に学ぶ。それにより、英語圏の文化的な一体性と多様性およびその背景について、各地の実態を踏まえながら考える。		
授 業 概 要	<p>長い間、話者の少ない言語であった英語は特に 19 世紀半ば以降、急速に世界的に話者を増やしていった。本講義では、19 世紀以降のイギリス帝国の拡大の結果成立し英語圏が、空間的な散らばりを超えてどのように一体性を獲得していったのか、あるいは多様性を抱えているのかを、反奴隷制運動などの近代的なソーシャル・リフォーム運動、移民、投資や戦争の表象などの在り方などを手掛かりに考える。また、帝国が形成される中で新たに再編されていった近代的な人種やジェンダー概念についても考える。</p> <p>English, a language with few speakers for a long time, rapidly increased its number of speakers worldwide, especially after the mid-19th century. This lecture considers how the English-speaking world, established as a result of the expansion of the British empire from the 19th century onwards, has achieved unity or diversity beyond spatial dispersion through to consider the various aspects of the modern British Empire such as anti-slavery movement, migration, notions of investment, technological advancement and representations of war, etc. We also learn how the modern concept of gender and race were created during the modern Empire building.</p>		
授 業 時 間 学 習 以 外 の 学 習 (準 備 学 習 含 む)	事前に配布する授業資料に目を通しておくこと。授業後に簡単に内容を確認しておくこと。		
授 業 計 画	1	はじめに - 英語圏の広がり -	
	2	英語圏を結びつける - ヒト・モノ・カネの移動 -	
	3	交通網の発達 - 鉄道・航路の発達 -	
	4	情報網の発達	
	5	投資とイギリス帝国	
	6	自由主義と新しい価値	
	7	ジェファースンの娘たち：奴隷制と家族	
	8	ジェンダーとセクシュアリティ	
	9	ヒトの流れ - 移民と英語圏の拡大 -	
	10	英語圏における戦争の記憶 (1)	
	11	英語圏における英語の記憶 (2)	
	12	英語圏の広がり と 多文化主義	
	13	移民国家イギリス	
	14	イギリスにおける多文化主義とその課題	
	15	試験	
評 価 方 法	試験ないしレポートによって評価する (100 パーセント)。		
教 科 書	フィリップ・レヴァイン著『イギリス帝国史 - 移民・ジェンダー・植民地へのまなざしから -』(昭和堂、2021 年)		
参 考 図 書	関連文献は授業内で紹介する。		
特 記 事 項	授業の進度などによって内容は変更されることがある。		